

はすかつぶ

2012年1月12日発行

発行所：一般社団法人 苫小牧青年会議所

苫小牧市表町1丁目1番13号
TEL:0144-34-3627 FAX:0144-32-9762
MAIL:info@toma-jc.jp
HP:http://toma-jc.jp



理事長挨拶



平成24年度 第60代理事長
吉本 一憲

新年のご挨拶

2012年度一般社団法人苫小牧青年会議所第60代理事長を務めさせていただきます吉本一憲でございます。はじめに、昨年発生いたしました東日本大震災において犠牲になられた皆様に深い哀悼の意を表しますと共に、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、一日も早い復興へ向けて、苫小牧青年会議所といたしましてもできる限りの御協力をさせていただきたく事をお約束いたします。さて、皆様におかれましては、新たな希望を胸に新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、日頃より、我々の活動に対しまして御指導、御鞭撻はもとより、多大なる御協力を頂戴しておりますことに心より御礼申し上げます。1953年（昭和28年）の設立より59年目を迎えました苫小牧青年会議所は、公益制度改革により、今年度より一般社団法人へと移行することとなりました。冠こそ変わりますが、先輩諸氏より脈々と受け継がれてきた揺るぎない崇高な理念は変わることなく我々の胸にしっかりと刻まれております。2012年度は、「ひとづくり」や「まちづくり」を通じて公共の利益のために私心を捨て、目的のためにお互いが歩み寄り相互に

理事長挨拶

理解していく事、つまり協調性を持ち「和」をもって取り組む事が何よりも尊いことであると考え、『「和」をもって心ひとつに地域のために』というスローガンのもと、時代の変化にも臆することなく立ち向かい、青年会議所メンバーとしての社会的な責任を自覚し、己を磨くことで先頭に立ちこの国や地域のため、また次代を担う人財を育成するために「和」をもって明るい豊かな苫小牧の創造へ向け、メンバー一丸となって活動してまいります。また苫小牧青年会議所は、2013年度には創立60周年を迎えます。人間に例えるならば「還暦」であり、「生まれ変わりの年」となります。この節目の年を控えた2012年度は、これまでの活動を振り返り、原点から見つめなおすと同時に、新しい苫小牧青年会議所の誕生へ向けての改革の機会と捉え、変えてはならない伝統と、変わらなければならない我々の意識の醸成を図るために、様々な事業を展開し、記念すべき60周年事業へと繋げてまいります。そのためにも皆様の会員拡大に対するご協力を切にお願い申し上げます。最後になりますが、今年が皆様にとりまして素晴らしい一年でありますよう心からご祈念申し上げます。新年の御挨拶といたします。一年間何卒宜しくお願いいたします。

直前理事長挨拶



直前理事長
藤田 健次郎

新年のご挨拶

旧年中は、皆様より多大なご支援とご鞭撻、叱咤と激励を賜り、滞りなく全事業を終了させることが出来ました。衷心より感謝申し上げます。また、東日本大震災に端を発する災害にて、未だ不便を強いられている被災地域の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。私共も物的支援の他、被災地での人的支援など、微力ながら力を尽くして参りました。しかし震災復興は、今後も長い時間を要します。この震災の記憶を薄めることなく然るべき活動を進めて参ります。さて、いよいよ平成24年の幕が上がりました。市民の皆様、諸先輩並びに会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと存じます。しかしながら、現在の日本は、歴史の節目となりうる、大変化の渦中にあります。今、新たな世界情勢の中で地域が如何にあるべきか、苫小牧の果たすべき役割や価値は何なのかを、本年度、第60代理事長となりました吉本一憲君が、明らかにして参ります。旧年の自利利他、限界突破の志を忘れることなく、和の精神で全市民の心をつなげてくれるものと確信しております。皆様におかれましては、どうか今年度も倍旧のご理解とご指導を宜しくお願い申し上げます。私も直前理事長として、新たに生まれ変わる一般社団法人苫小牧青年会議所が、公益に資する団体であり続ける為に力を尽くして参ります。最後に、本年が皆様にとりまして、素晴らしい一年になりますことを祈念してご挨拶と致します。

OB会長挨拶



OB会 会長
猪股 瑞彦

新年のご挨拶

謹んで初春のお喜びを申し上げます。時の経つのは早いもので二十四年壬辰年となりました。昨年の藤田丸は三月東日本大震災の影響をも乗り越え復興への心向けながらJC活動に一致団結邁進してきたことは素晴らしい事であり、OBとして嬉しい限りであります。特にここ数十年受け継がれている「好きトマ」の思いを礎にメンバー皆が自己研鑽と町づくりへの情熱は各祭りに現れて市議会と市民の距離感、まちづくりの根幹である町内会と各町内市民との関わりを啓蒙促進にと、JCの存在を認識度高める効果あったものと思われま。今年は伝統あるJC第六十代理事長に吉本一憲君が就任され「吉本丸」の船長として船出を致しました。六十年とは人生にたとえると還暦・節目の理事長であります。この節目の年に役が廻って来たと言うことは神のなせる業そのものであります。どうぞ辰の年に因み天を翔る龍のように威風堂々自分の目指すJC活動に邁進されたし。単年度の事業と云う中で何かと制限される難しさがありますが「好きトマ」共通の思いは揺るぎなきものとして、在籍制限四十歳は心身に活力が充満している年代、JC綱領「英知と勇氣と情熱を」遺憾なく発揮して頂きたいと思っております。市民と共にあるJC、そのメンバーとしての誇りと和をもって悔いのない一年にしようではありませんか。

青年会議所ってどんなところ？

1949年、明るい豊かな社会の実現を理想とし、責任感と情熱をもった青年有志による東京青年商工会議所（商工会議所法制定にともない青年会議所と改名）設立から、日本の青年会議所（JC）運動は始まりました。共に向上し合い、社会に貢献しようという理念のもとに各地に次々と青年会議所が誕生。1951年には全国的運営の総合調整機関として日本青年会議所（日本JC）が設けられました。苫小牧青年会議所は1953年に設立され、今年度は59年目を迎えます。私たちは59年の長きにわたり、ボランティアや行政改革などの社会的課題に積極的に取り組んでいます。また、おまつりなどの地域事業や青少年育成事業にも積極的に取り組み、地域の皆様に少しでもお役にたてるよう日々活動しています。青年会議所には、品格ある青年であれば、個人の意志によって入会できますが、20歳から40歳までという年齢制限を設けています。これは青年会議所が、青年の真摯な情熱を結集し社会に貢献することを目的に組織された青年のための団体だからです。会員は40歳を超えると現役を退かなくてはなりません。この年齢制限は青年会議所最大の特性であり、常に組織を若々しく保ち、果敢な行動力の源泉となっています。会員は1年ごとにさまざまな役職を経験することで、豊富な実践経験を積むことができ、自己修練の成果を個々の活動にフィードバックさせていけます。青年会議所におけるさまざまな実践トレーニングを経験した活動分野は幅広く、OBも含め各界で社会に貢献しています。



謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

とまこまいスケートまつりは本年度で46回目の開催を迎え、苫小牧の冬の代表的な文化事業となっております。

この苫小牧の伝統的なおまつりは、市民に多くの活力を与えるだけでなく、苫小牧市から他地域に伝統文化を発信し、交流を深めるための素晴らしい機会です。本年もこれまでに築き上げてきた歴史を大切に重んじ、本事業に参画いたします。我々がおまつりを通じ、次世代を担う子供達の笑顔の創出や、市民との交流、故郷のおまつり文化の再発見ができる場を提供することにより、一人ひとりが故郷の素晴らしさを再認識し、誇りに思う心へと繋がり、我がまちを大切に思う市民が増えることで、郷土愛あふれる地域となって行きます。この事業を通して、和のこころの醸成や地域活力の促進を目指すと共に、次世代へ苫小牧文化を継承することが明るい豊かな社会の創造に重要不可欠であることを感じていただきたいと思います。本事業では例年人気のスケートボブスレーの運営と、若草会場に移って以降初めての、屋外スケートリンクの運営を企画しております。是非皆様でご参加くださいますよう、お願い申し上げます。

事業テーマ：

【わくわくスケートランド】

実施日時：運営1日目 2月4日(土) 12:00~16:00
運営2日目 2月5日(日) 11:00~16:00

スケートリンク無料一般滑走

スケートまつりの名にふさわしく、イベント会場内に実行委員会と共に屋外スケートリンクを作り運営いたします。小さなお子様から大人まで、沢山の方に無料でスケートを楽しんでいただき、スポーツ都市宣言にある「スポーツの機会をつくる」に基づき、冬の代表的なスポーツであるスケートに触れる機会を創出致します。

◎スケートリンク一般滑走

解放時間 2月4日・5日 10:00~19:00

※当日はスケート靴・手袋持参にてご来場ください。

会場にも用意しておりますが、数が少ない為、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。



アトラクションコーナー

◎スケートボブスレー

長年に渡り、青年会議所で運営して参りました、スケートボブスレーは、多くの市民の皆様よりの要望が高いアトラクションのひとつです。スケートの街苫小牧らしく、スケート靴の形をしたボブスレーに乗っていただき、氷の上を滑るアトラクションです。子供達の笑顔を生み出し、市外の方へ苫小牧の地域性をより印象づけていただきます。

スケートまつり歴史展

テント内にアンケートコーナーと併設し、スケートまつりの過去のポスターや写真ライブラリーを展示致します。現在の子供達には古くから行われてきた、苫小牧の冬の代表的なおまつりの歴史を知っていただき、親御さんの方々は過去のおまつりを見て懐かしんでいただき、子供に当時のおまつりの思い出を話す機会を創出し、親子の触れ合いを育みます。

※内容については全て予定とさせていただきます

新入会員の皆様へ

アカデミー塾 塾長 島崎 克志

新入会員の皆様、青年会議所(JC)に入会して頂きました事、まずもって感謝とお祝いを申し上げます。青年会議所は“明るい豊かな社会”の実現を同じ理想とし、次代の担い手たる責任感を持った20歳から40歳までの指導者たらんとする青年の団体です。青年は、人種、国籍、性別、職業、宗教の別なく、自由な個人の意志によりその居住する各都市の青年会議所に入会できます。現在750余の都市に5万余名の会員を擁し、全国的運営の総合調整機関として日本青年会議所が東京にあります。全世界に及ぶこの青年運動の中核は国際青年会議所ですが、86カ国地域に国家青年会議所があり、約42余万人が国際的な連携を持って活動しています。日本青年会議所の事業目的は、“社会と人間の開発”です。その具体的事業としてわれわれは市民社会の一員として、市民の共感を求め社会開発計画による日常活動を展開し、「自由」を基盤とした民主的集団指導能力の開発を推し進めています。さらに日本の独立と民主主義を守り、自由経済体制の確立による豊かな社会を創り出すため、市民運動の先頭を立て進む団体、青年会議所です。そんな青年会議所からJAYCEEが得られる物は、感動、出会い、思い出、様々な分野における個人としての成長に必要な糧であり、私たちJAYCEEにとって何物にも代え難い、とても貴重な財産です。しかし、それを取得するには自分自身が、JC活動とJC運動へ積極的に参加する目的意識を持つ事と、それに伴う行動が大切な事は無論、より多く取得する為の機会と手段と環境が必要不可欠であり、最初にその得られる物をこの度、入会された皆さまに、アカデミー塾にて感じて頂きたいと考えていますので、1年間どうぞよろしくお願い申し上げます。



あべ ゆきひろ 昭和48年8月15日
阿部 幸弘 血液型 B型
勤務先:(株)苫小牧エージェンシー 業務課長
〒053-0011 苫小牧市末広町3-6-14
TEL:0144-33-0268
FAX:0144-35-1162



いべ たかつぐ 昭和51年6月27日
伊部 卓嗣 血液型 AB型
勤務先:苫小牧信用金庫緑町支店 主任
〒053-0045 苫小牧市双葉町3-3-5
TEL:0144-33-9241
FAX:0144-33-9246



かがみ よしのぶ 昭和54年5月29日
鏡 吉伸 血液型 A型
勤務先:(株)北海砥石商会 役員
〒059-1364 苫小牧市沼ノ端230-687
TEL:0144-51-2800
FAX:0144-51-2801



かさい けんじ 昭和55年7月8日
葛西 賢治 血液型 B型
勤務先:日胆ヒーティング
〒053-0031 苫小牧市春日町3-12-13
TEL:0144-33-5209
FAX:0144-33-5213

組織未来創造会議

組織未来創造会議 議長 山本 康二

会員拡大のテーマは、永遠の活動テーマとして注目されており、今年度も吉本理事長をはじめとするLOMの勇士が丸となって活動致します。しかし、この人数は、例会及び事業規模を大きく縮小させていかなければならない危機的な状況であるため30名の会員拡大を目標に過去の取組結果を基に様々な工夫や手法を取り入れ活動を致します。

活動のポイントは、全メンバーが常に拡大活動を意識して頂くためにメールにて、目標までの達成状況や活動のポイント等を配信します。また、毎月の例会の中で拡大PRとして各月ごとの注力テーマを定めた活動を推進します。更には、例会受付時に見込みリストの有情情報を収集し獲得精度を向上させます。最終的には見込み者提供数及び入会確定者数の最も多い委員会に褒賞をさせていただきます。2月例会では情報収集に100%特化した内容で150名の見込みリストの完成をテーマに企画致します。

現役メンバーとしての活動は以上の通り行いますが、青年会議所活動の一番の理解者はOBの皆様であると考えています。活動の良い点悪い点を率直に発信頂き拡大活動に対する全面的な協力を頂きたくお願い致します。輩出方法は、社内・取引先・知合い等あると思いますが情報を頂いた際には責任を持って迅速に対応致します。どんな些細な内容でも構いませんので、情報ありましたら事務局若しくは、組織未来創造会議 議長 山本康二 090-6212-4808までご連絡頂きたくお願い致します。

同好会便り

ボウリング会議所 幹事長 米田 嘉慎

ボウリング会議所は、毎月一回、苫小牧中央ボウルにて現役とOBの交流の場としてボウリングに自身の無い人には優しく指導、腕に自身の有る人にはお手本を見ながら更に高みを目指せる活動を行っております。近年ではアカデミー塾生が二回も例会に取り入れ、健康的なスポーツとして報告をしております。更に楽しいのは終わったあとの乾杯!苫小牧青年会議所の英知を結集したOB諸氏との会話は現役の青年会議所活動にとっても有効かつ自分の成長へと繋がります。今年度のスケジュールについては下記の通り決定しておりますので例会事業の宣伝を兼ねてそれぞれ委員会単位での参加!!待っています。今年度、ボウリング会議所の開始時間は19:30~スケジュールについては1/24(火) 2/14(火) 3/15(火) 4/17(火) 5/17(木) 6/14(火) 7/24(火) 8/21(火) 9/18(火) 10/16(火) 11/13(火) 12/11(火) (日程は事業などの都合により変更する場合がございます)6月には中間報告、12月には全試合結果発表のフェスティバルを開催いたします。内容は来てのお楽しみ!!久しぶりに現役に会いに・先輩にこんなこと聞きたい!!など現役、OBを問わずに皆さんの入会をお待ちしております。

じゃがいもクラブ 幹事長 伊部尚宏

新年あけましておめでとうございます。本年度、歴史と伝統のある「苫小牧青年会議所じゃがいもクラブ」幹事長を務めさせていただき、伊部尚宏と申します。一年間よろしくお願い致します。当クラブは、ゴルフというスポーツを通じて、競技者同士の交流や自己研鑽、エチケットやマナーの向上を目的に活動を行っています。特に現役メンバーには多くのOBの皆様と交流を深める事の出来る絶好の機会となっております。本年は渡邊健治会長のもと年4回の例会の他、八戸JCとの交流戦(苫小牧開催)を企画しています。そして今年は、「第9回日本JCじゃがいもクラブ北海道地区LOM対抗戦」がここ苫小牧青年会議所主管のもと開催されます。北海道各地よりOB、現役の皆様が多数集結いたします。多くの皆様でお出迎え対抗戦を盛り上げていきたいと考えていますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。昨今の厳しい経済情勢ではありますが、ゴルフ銀座と呼ばれるここ苫小牧を活性化させるためにも是非多くの皆様にご入会いただけることをお願いしてご挨拶とさせていただきます。

サッカー同好会 主将 佐藤瑞輝

新年あけましておめでとうございます。昨年はJCリーグ決勝トーナメント進出、またサッカー女子日本代表のワールドカップ制覇などサッカーを愛する我々にとって大変充実した1年でありました。今年度、サッカー同好会(ベンチウルサーニョFC)は、昨年果たせなかったJCリーグ優勝を目標に1年間活動して参ります。現代サッカーの基本システムである、全員攻撃、全員守備を踏襲し、華麗なパス回しからゴールを目指すモダンサッカーを目指し活動してまいります。とは言うものの、サッカー未経験者の方、運動不足でお悩みの方、サッカーやってみたくて体力に自信が・・・、なんて思っている方も是非一緒に身体を動かしてみませんか?我がサッカー同好会は、基本コンセプトに参加したメンバーは必ず試合に出場できる制度を設けています。また他のスポーツとは違い、家族観戦も出来ますので家族愛も育まれます。少しでも興味を持たれた方は、サッカー同好会事務局までご連絡ください。本年もサッカー同好会への温かいご支援、ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

アイスホッケー同好会 Aチーム主将 星野岳夫

昨年度は当同好会の活動においても3.11に起こった震災の影響を大きく受けました。札幌JCとの交流戦は両LOMの強い想いにより何とか開催することが出来ましたが、八戸JCとの交流戦は中止を余儀なくされました。本年度は札幌戦が苫小牧での開催、八戸戦が八戸での開催となります。札幌JCの皆様を苫小牧にお招きしての交流戦を盛り上げることは勿論として、ぜひとも八戸の地に一人でも多くのメンバーで赴き、長年にわたり築き上げてきた絆をより一層深めていきたいと思っております。八戸JCはAチームBチームの他にアイスホッケー未経験者による素人チームも編成し我々を暖かく迎えてくれます。我々もアイスホッケー経験の有無に関わらず多くのメンバーで参加したいと思っております。この様な時だからこそ、我々が八戸JCと姉妹LOMであることに意味を感じ、現役メンバーは云うに及ばず先輩諸氏におかれましては多数の参加を宜しくお願い申し上げます。苫小牧の貴重な宝であるアイスホッケー文化を再度盛り上げていくことも我々の担いであると考えます。多くの皆様の入会をお待ちしております。

